

「アンケート結果がまとまりました」 美郷町農業の将来 「人と農地の問題」

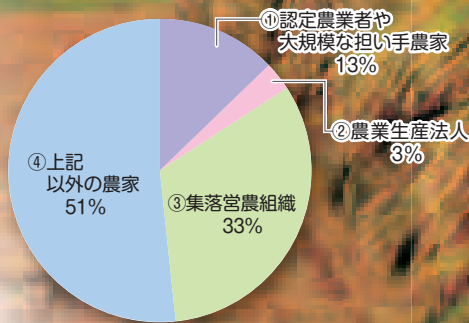
農 業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く状況は厳しさが続き、5年後、10年後の展望を描けない地域が増えています。そんな地域の声を集約するため、今年8月に「美郷町農業の将来（人と農地の問題）」に関するアンケートを実施しました。たくさんの農業者のみなさまから回答をいただいたアンケートの結果がこのたびまとまりましたのでご紹介します。

※質問項目ごとの回答数の合計は、記入回答があった数になっており、回収数とは一致しません。

調査対象者：美郷町内の農地の耕作者 2,753戸
回収数（回収率）：2,188戸（79.5%）

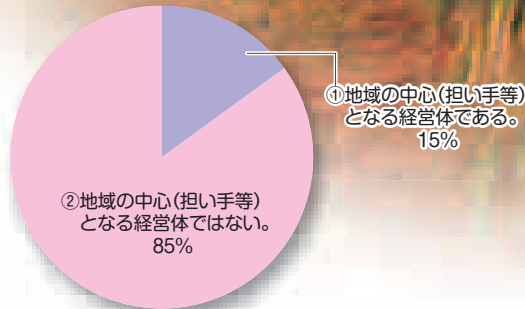
Q1 あなたの経営の種類を教えてください。

項目	回答数	割合(%)
①認定農業者や大規模な担い手農家	265	13
②農業生産法人	58	3
③集落営農組織	684	33
④上記以外の農家	1,093	51
合計	2,100	100



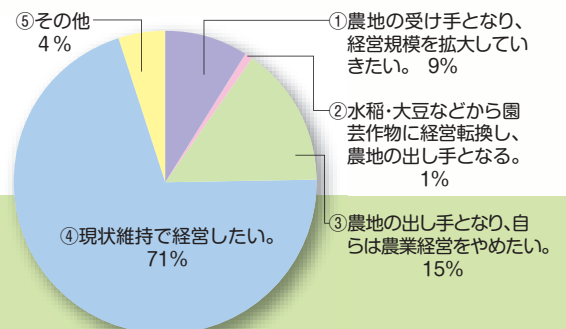
Q2 あなた自身(又はあなたの家族)の農業経営は、地域の中でどういう位置付けであると考えますか。(①・②のどちらかを選択)

項目	回答数	割合(%)
①地域の中心(担い手等)となる経営体である。	312	15
②地域の中心(担い手等)となる経営体ではない。	1,727	85
合計	2,039	100



Q3 あなた自身(又はあなたの家族)の農業経営は、今後どのようにしていきたいと考えていますか。(①～⑤から一つを選択)

項目	回答数	割合(%)
①農地の受け手となり、経営規模を拡大していきたい。	174	9
②水稻・大豆などから園芸作物に経営転換し、農地の出し手となる。	13	1
③農地の出し手となり、自らは農業経営をやめたい。	302	15
④現状維持で経営したい。	1,448	71
⑤その他	107	4
合計	2,044	100



アンケート結果を基に作成した「人・農地プラン※」の案を見ることができます。

閲覧期間●平成24年12月3日(月)～12月10日(月) 閲覧場所●JA秋田おほこ各営農センター、JA秋田ふるさと金沢営農資材課

※「人・農地プラン」は、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。プラン作成地域の今後の方向性を定めるもので、美郷町では、美郷町全域を一つの地域としてプランを作成しています。プランを作成することで様々な助成制度を利用することができます。

Q4 あなた自身(又はあなたの家族)の農業経営は、今後、だれに委ねたいと考えていますか。
(①・②・③から一つを選択)

項目	回答数	割合(%)
①委ね先を考えている。	808	37
②委ね先は、現在未定である。	316	15
③当面は、このままでいく。	1,050	48
合計	2,174	100

委ね先を考えている場合は誰に

項目	回答数	割合(%)
①-(1) ご自身の家族	359	45
①-(2) 地域の大規模な担い手農家	95	12
①-(3) 農業生産法人	98	12
①-(4) 集落営農組織	218	27
①-(5) その他	33	4
合計	803	100

委ね先を考えている場合で
ご自身の家族の場合は

項目	回答数	割合(%)
①-(1)-(1) 現在は一緒に同じ作物等を生産し、出荷している。	143	43
①-(1)-(2) 現在は違う作物等を生産し、別に出荷している。	7	2
①-(1)-(3) 現在は就農していないが、将来は就農する予定である。	182	55
合計	332	100

Q5 あなたの集落・地域の農業(人と農地)は、10年後にどのようなになっていると思いますか。
(①・②のどちらかを選択)

項目	回答数	割合(%)
①問題ない状態	393	19
②次のような問題が生じていると思う。	1,679	81
合計	2,072	100

次のような問題が生じていると思う(複数回答可)

項目	回答数
②-(1) 農地が利用されず、耕作放棄地が増加する。	405
②-(2) 地域を支える安定した経営体(個人・法人・集落営農)がない。	321
②-(3) 若年の農業者が減少し、高齢化が一層進む。	1,517

Q6 あなたの集落・地域には、現在、今後の地域農業の中心となる経営体(個人・法人・集落営農)がいますか。
(①・②のどちらかを選択)

項目	回答数	割合(%)
①いる	1,260	61
②いない	799	39
合計	2,059	100

いる場合は誰か(複数回答可)

項目	回答数
①-(1) 認定農業者や大規模な担い手農家などの個人	519
①-(2) 農業生産法人	238
①-(3) 集落営農組織	757

Q7 あなたの地域の農業(人と農地)を持続可能なものとするために、今後どうしたらよいと思いますか。
(①・②・③から一つを選択)

項目	回答数	割合(%)
①地域の中心となる経営体に農地を集積し、そこに青年就農者が参加していくことが必要であるとする。	1,435	68
②現状のままでよい。	580	28
③その他	80	4
合計	2,095	100

地域の中心となる経営体の候補は(複数回答可)

項目	回答数
①-(1) 認定農業者や大規模な担い手農家などの個人	611
①-(2) 農業生産法人	643
①-(3) 集落営農組織	741
①-(4) 一般企業(株式会社など)	258

Q8 あなたの集落・地域に青年就農者(新たに就農する若い人)が入ってくる必要があると思いますか。
(①・②・③から一つを選択)

項目	回答数	割合(%)
①今すぐ確保する必要がある。	398	19
②現在は必要ないが、将来を考え早い段階で確保する必要がある。	1,213	58
③現状のままでよい。	482	23
合計	2,093	100

確保する必要がある場合に候補者はいるか

項目	回答数	割合(%)
(1) 青年就農者の候補者はいる。	212	13
(2) 青年就農者の候補者はいない、又はわからない。	1,399	87
合計	1,611	100

アンケートにご協力いただきありがとうございました。